

令和 6 年度

第 2 回 安平町地域公共交通会議 議案

(兼 安平町地域公共交通協議会)

令和 7 年 1 月 15 日付け書面会議

～ 会 議 次 第 ～

1 委員の任期更新について

[9 月 12 日付け委嘱（全委員の任期更新）] **P 2**

（変更）安平町老人クラブ連合会 副会長 右田時夫 氏

※留任の方を含めた全員のご紹介は、委員名簿を参照ください。

2 議 事

協議事項

（1）地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について **P 3**

※**資料 1** 事業評価対象：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月の循環バス運行

報告事項

（2）循環バスにおける自由乗降区間実証調査について **P 4**

※調査区間 追分地区町内会連合会からの要望等を踏まえ抽出した 2 か所

※実施期間 令和 7 年 1 月 6 日～31 日の平日

（3）早来地区におけるハイヤー事業について **P 5**

3 そ の 他

安平町地域公共交通会議 安平町地域公共交通協議会 委員名簿

令和6年1月16日現在（任期更新）

任期：[交通会議] 令和6年9月12日～令和8年9月11日

[協議会] 令和6年9月12日～令和8年9月11日

区 分	役 職	所 属 ・ 役 職 名	氏 名
町 長 が 指 名 す る 者	会 長	安平町副町長	田 中 一 省
室蘭運輸支局長が指名する者		室蘭運輸支局首席運輸企画専門官	門 間 俊 也
北海道胆振総合振興局長が指名する者		北海道胆振総合振興局地域創生部 地域政策課長	西 崎 拓 也
あつまバス株式会社の代表	協議会 監事	あつまバス株式会社営業部営業課次長	吉 田 章
有限会社追分ハイヤーの代表		有限会社追分ハイヤー運行管理者	及 川 竣 介
北海道旅客鉄道株式会社の代表が指名する社員		北海道旅客鉄道株式会社 総合企画本部 地域交通改革部専任部長	海 原 邦 夫
地 域 住 民 の 代 表		安平町追分地区町内会連合会 会長	真 保 立 至
	協議会 監事	安平地区連合自治会 会長	佐々木 弘
		早来地区自治会連合会 会長	山 下 美 樹
		遠浅地区自治連絡協議会 会長	山 田 強
		安平町老人クラブ連合会 副会長	右 田 時 夫 R6.9.12 変更
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会の代表		北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会 議長代理	工 藤 幹 彦
道 路 管 理 者 が 指 名 す る 職 員		北海道開発局室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所長	石 塚 達 也
		北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部 事業室 地域調整課長	山 平 秀 典
北海道警察札幌方面苫小牧警察署長が指名する職員		札幌方面苫小牧警察署 交通第一課長	宮 崎 翔 太
学識経験者		苫小牧工業高等専門学校 創造工学科(都市・環境系) 教授	したむら 光 弘
交通会議が必要と認める者		安平町商工会 会長	小 林 正 道

議事（１）協議事項

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について

令和６年補助年度（令和５年１０月１日から令和６年９月３０日まで）における、循環バスの事業評価（１次評価・自己評価）について、下記のとおり委員の承認を求めます。

記

【評価に関する説明】

- ・ 循環バスは、国の補助事業（地域公共交通確保維持改善事業 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用し、平成３１年４月１日より運行を開始しております。今回の評価対象期間は、令和６年補助年度（令和５年１０月１日から令和６年９月３０日）までの１年間を評価するものとなります。
- ・ 評価対象期間中には、前年度に寄せられた町民意見等をもとに各種改善を図りました。（以下、主な改善点。）
 - ①追分駅での千歳－追分間の普通列車との接続改善
 - ②自由乗降区間の拡充（新設１：追分高校前）
- ・ 「目標・効果達成状況」については、３項目の目標を設定したなかで、初めて３項目全て達成という結果となりました。
 - １つめの「循環バスの利用者数」については、乗客満足度アンケート調査の結果から、広報活動及び利用者の声を反映した改善など、地道な取り組みを続け乗客満足度を高める取り組みの効果が現れたものと評価しており、ほぼ全期において前年同月比で利用者増、全体で６,５２８人、前年比で１１.５％増となり目標を達成しました。
 - ２つめの「循環バスの経常収支率」についても、利用者数が伸びたことに伴い運賃収入が前年比で１１.９％増え、収支率が改善し目標を達成しました。
 - また３つめの「循環バスに対する町負担割合」については、８１.２％以下の目標に対して７９.４％という結果となり、目標を達成しました。前出のとおり運賃収入の増収が大きな要因です。
- ・ 今回は全ての項目で目標を達成できましたが、次年度は循環バス運行業務委託料の長期継続契約が更新時期に当たり、燃料費や人件費の高騰など、当町だけではなく国内経済事情を反映した経費増嵩が予想されており、今後の目標達成は険しい見通しです。運賃収入については伸びている傾向にあることから、引き続き利用促進策を講じながら目標達成を目指していく考えです。
- ・ 詳細については、別添資料１の事業評価様式をご覧ください。なお、今後は２か年に一度実施される北海道運輸局による２次評価を受け、後年の事業計画策定及び事業実施に反映させてまいります。

議事（２）報告事項

循環バスにおける自由乗降区間実証調査について

令和５年度に寄せられた追分地区町内会連合会からの「国道を除く追分市街地全域に自由乗降区間を拡充を」との要望を踏まえ、乗客満足度アンケート調査結果等と重ね合わせながら２つの区間を抽出し実証調査区間に設定し、実際にニーズがあるのか、循環バスでの解決が適当かどうか、積雪期の危険性などについて検討を行います。

記

【実証調査の概要】

広報笑顔令和６年１２月号転載

循環バスの自由乗降区間実証調査を行います

追分地区町内会連合会からの要望を踏まえ、循環バスの自由乗降区間の増設についてさらなる検討を進めるため、次のとおり実証調査を実施します。乗降量、乗降場所、積雪期の危険性などについて調査しますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

調査区間 ①青葉豊栄幹線の一部（青葉会館付近～灯葉舎さん付近の直線区間）
②追分安平線の一部（花若入口バス停～追分南公営住宅付近の直線区間）

調査期間 令和７年１月６日(月)～３１日(金)の平日

乗車方法 バスに向かって手を上げて運転手に合図してください。

問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎② 2751

【実証調査の結果等】

調査結果及び結果に基づく検討については、今後の当会議において議題としてまいります。

議事（３）報告事項

早来地区におけるハイヤー事業について

長く続いていた早来地区でのハイヤー空白対策については、第二種運転免許取得費助成金（令和６年度：２名活用）や地域おこし協力隊制度を活用した運転手の確保、有限会社追分ハイヤーに対する車両導入費補助金などを講じることにより、令和６年６月２４日から週３日営業が実現し、二人目の地域おこし協力隊員が着任したことから、令和７年１月６日から早来地区でも週６日営業が実現することになりました。このことについては、令和６年１２月号の広報笑顔でもお知らせしたところであります。

そうした矢先、一人目の地域おこし協力隊員に病気が発見され、１月中をもって実働を終え退職することとなったことから、隊員が補充採用されるまでの間、営業日が下記のとおり変更となりますこととお知らせいたします。

委員の皆さんにおかれましては、当面の目標としております「早来地区でのハイヤー週６日営業化」に向けて、ご理解ご協力をお願いいたします。

記

【早来地区でのハイヤー事業】

広報笑顔令和７年１月号掲載（１月２０日発行）予定内容

早来地区でのハイヤー営業日が変更となります

令和７年１月より週６日に拡大された早来地区でのハイヤー営業ですが、地域おこし協力隊員が病気退職することになったことから、隊員が補充採用されるまでの間、営業日に変更となります。ご期待いただいていた町民の皆さんには申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

【早来地区でのハイヤー営業】

予約先：(有)追分ハイヤー早来地区担当ドライバー専用電話 ☎29-7045

	1月31日（金）まで	2月1日（土）から	3月1日（土）から
月～金曜日	8時30分～18時50分 [予約受付8時～18時30分]	8時30分～18時50分 [予約受付8時～18時30分]	人員状況を踏まえ、 2月20日の広報笑顔でお知らせします
土曜	8時30分～18時50分 [予約受付8時～18時30分]	休業	
日曜・祝日	休業	休業	休業

問合せ (有)追分ハイヤー本社 ☎25-3867（問合せ対応時間 8時～17時）
（町の公共交通担当課）政策推進課政策推進グループ ☎22-2751

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月15日

協議会名: 安平町地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
安平町	循環バス 道の駅あびら～早来駅前～ 早来源武 【車両減価償却費等国庫補助】	広報紙への掲載やあびらチャンネルによる利用促進CMの放映など住民への説明機会を増やし、循環バスの認知度を高めるとともに、乗り継ぎや組み合わせなど交通手段を賢く上手に利用する啓発活動を強化した。また、追分駅での普通列車との接続改善や追分高校前における自由乗降区間を新設した。 ノーマイカー運動や鉄道等利用促進活動費助成金事業の実施、常設型公共交通相談窓口の設置など、公共交通全体の利用促進を年間を通じて継続的に展開した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 循環バスの利用者数 計画 5,200人/年以上 実績 6,528人/年 循環バスの経常収支率 計画 4.7%以上 実績 6.0% 循環バスに対する町負担割合 計画 81.2%以下 実績 79.4%	地域住民に対して広報や出前型による説明機会を増やし、循環バスをはじめとした公共交通機関の認知度を高めるとともに、交通手段を賢く上手に利用する啓発活動を強化する。また、鉄道や幹線バス、ハイヤー等との連携と共存を念頭に置きながら、利用者アンケートの実施によりデータに基づく循環バスの改善を図っていく。 経常収支率や町負担割合については、今期は目標達成できたものの、燃料費や人件費の高騰などの国内経済事情が立ちはだかっており今後の見通しは陰しい。運賃収入については伸びている傾向にあることから、地道に利用促進策を講じながら改善を図っていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月15日

協議会名：	安平町地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	は、北海道の南西部、胆振管内の東部に位置し、面積は237.1km²、人口約7,300人の軽種馬や酪農などの農業を基幹産業とした過疎地域であり、北海道胆振東部地震で大きな被害を受けたことにより人口減少幅が大きくなった地域である。 こうした背景を直視し、地域住民にとってより使いやすく持続可能な公共交通を目指して令和4年6月に安平町地域公共交通計画を策定した。これを指針に、鉄道、バス、ハイヤー等の移動手段の更なる有効機能、まちづくり計画との連携等による継続的で発展的な地域住民の足を確保し、住みよい環境づくりに取り組んでいる。 当該事業により確保を図る「循環バス」は、ニーズとの乖離等の問題点を改善する抜本的な取組として、令和元年度から運行を開始。幹線交通と接続する支線の役割を担い、住民生活を支え、地域内を回遊交流するための重要な路線としての存在感が増している。引き続き住民や交通事業者の意見を踏まえた改善や利用促進策により、「循環バス」の維持確保を進めるものである。

安平町地域公共交通協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

安平町は、北海道の南西部、胆振管内の東部に位置し、面積は237.1km²、人口約7,300人の軽種馬や酪農などの農業を基幹産業とした過疎地域であり、北海道胆振東部地震で大きな被害を受けたことにより人口減少幅が大きくなった地域である。

こうした背景を直視し、地域住民にとってより使いやすく持続可能な公共交通を目指して令和4年6月に安平町地域公共交通計画を策定した。これを指針に、鉄道、バス、ハイヤー等の移動手段の更なる有効機能、まちづくり計画との連携等による継続的で発展的な地域住民の足を確保し、住みよい環境づくりに取り組んでいる。

当該事業により確保を図る「循環バス」は、ニーズとの乖離等の問題点を改善する抜本的な取組として、令和元年度から運行を開始。幹線交通と接続する支線の役割を担い、住民生活を支え、地域内を回遊交流するための重要な路線としての存在感が増している。引き続き住民や交通事業者の意見を踏まえた改善や利用促進策により、「循環バス」の維持確保を進めるものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

- 循環バスの利用者数： 5,200人/年以上(令和6年度)
- 循環バスの経常収支率： 4.7%以上(令和6年度)
- 循環バスに対する町負担割合： 81.2%以下(令和6年度)

令和6年度事業概要

循環バスの運行
運行系統： 道の駅あびら～早来駅前～早来源武
系統キロ程：往路38.8km、復路39.4km
運行日数： 244日(R5年10月～R6年9月)
運行回数： 1,220.0回

地域公共交通の現況

- ・JR石勝線(追分駅)、
JR室蘭線(追分駅、安平駅、早来駅、遠浅駅)
- ・あつまバス(株)(苫小牧線、千歳線等)
- ・循環バス(町内4地区を結ぶ町営バス)
- ・デマンドバス(商工会と追分ハイヤーによる
小地域内を移動する予約制乗合バス)
- ・(有)追分ハイヤー
- ・スクールバス(5路線・町営)
- ・福祉輸送(1事業・町営)

協議会開催状況

- ・令和6年1月16日
乗客満足度等アンケート調査の結果、
循環バスにおける令和6年4月1日改正内容 他
- ・令和6年6月27日
地域公共交通計画の令和5年度評価、
地域公共交通計画別紙事業計画の承認 他
- ・令和7年1月15日
確保維持改善事業の事業評価について 他

運賃：大人(中学生以上)	200円
小人(小学生)	100円
幼児(要同伴者)	無 料

1) プロセス、創意工夫

寄せられた町民意見や乗降データ等をもとに各種見直しを行った。(以下、主な改善点)

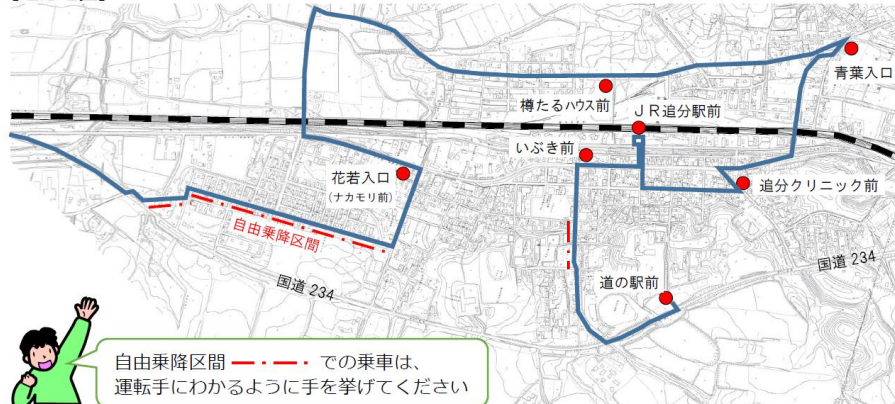
- ・追分駅での千歳ー追分間の普通列車との接続改善を行った。
- ・追分地区町内会連合会の要望内容及び乗客満足度アンケート調査等の結果が一致し、かつ見込まれる乗車目的が循環バスの機能「地区間を跨ぐ移動」に該当する部分について、自由乗降区間の拡充を行った。(追分高校前)

その他、地域公共交通計画に基づき、次の取組を実施した。(以下、主な取組)

- ・賢く上手な公共交通の組合せ利用を促す総合時刻表や路線図の全戸配布、GoogleMAP等との連携、あびらチャンネルによるCM放映
- ・老人クラブなどへの訪問説明、常設型公共交通相談窓口の設置など、町民対話型による公共交通の改善
- ・利用促進を図るノーマイカー運動や助成金事業の実施、町内全公共交通機関で利用できる共通回数乗車券の発行
- ・駅や停留所の美化活動など町民協働による「私たちの公共交通」意識の醸成(関係団体がJR北海道から感謝状を受領)

2) 運行系統

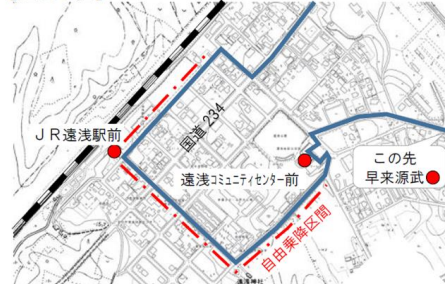
【追分地区】



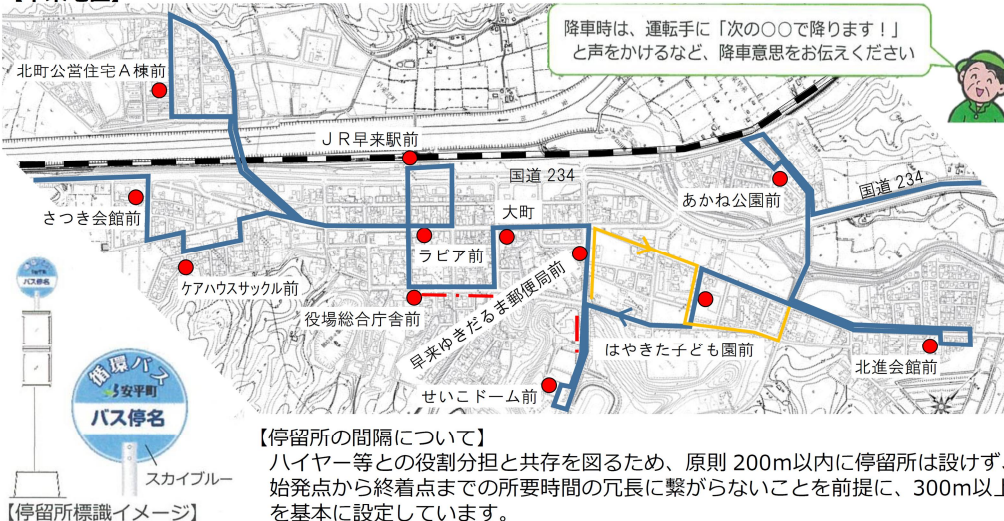
【安平地区】



【遠浅地区】

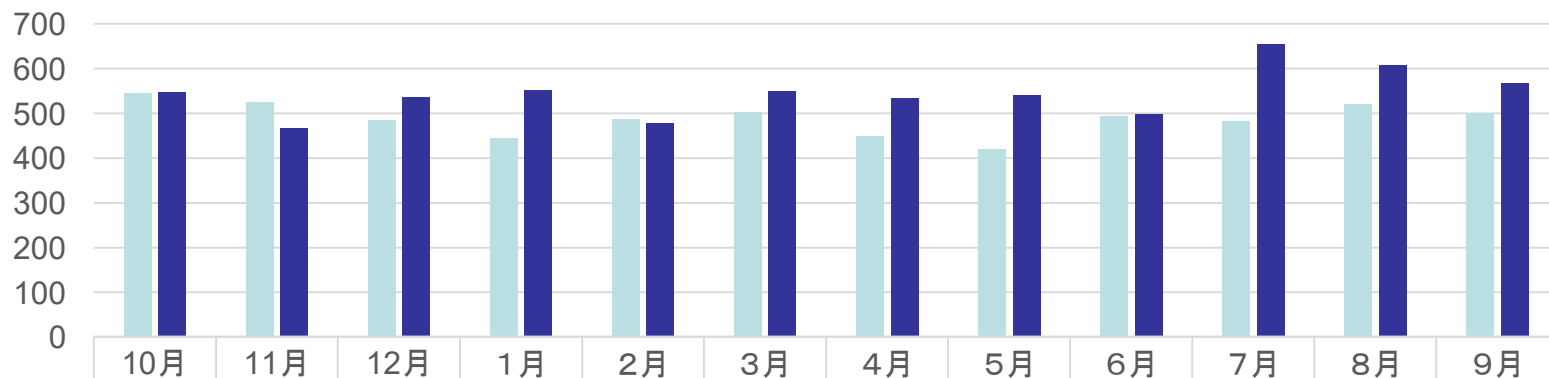


【早来地区】



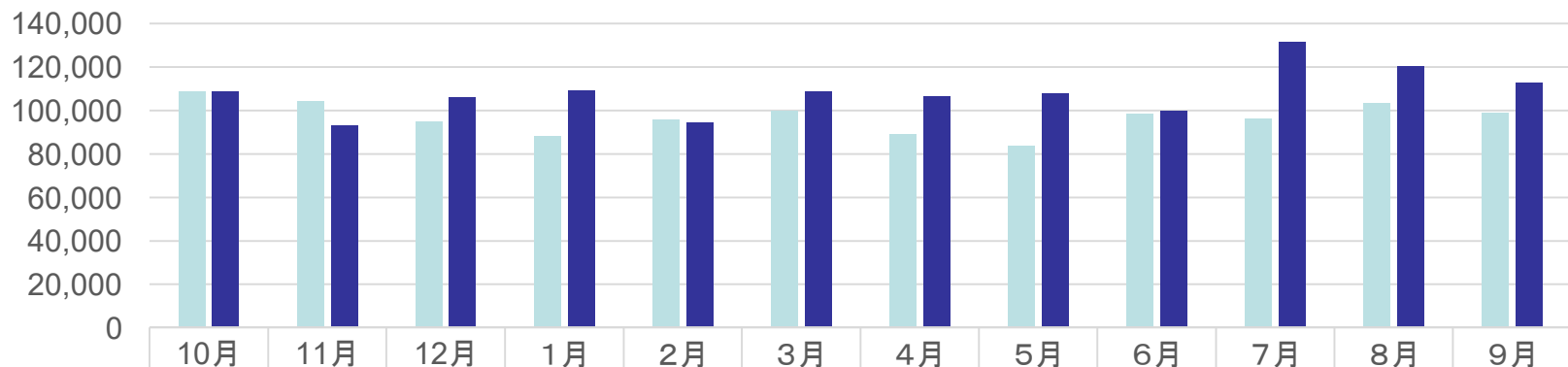
3) 利用実績

R5年度
(10～9月合計)
5,854人
↓
R6年度
(10～9月合計)
6,528人
(+11.5%)



4) 収入実績

R5年度
(10～9月合計)
1,160,100円
↓
R6年度
(10～9月合計)
1,298,600円
(+11.9%)



5)事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

6)目標・効果達成状況

循環バスの利用者数 [達成]
計画 5,200人/年以上
実績 6,528人/年

循環バスの経常収支率 [達成]
計画 4.7%以上
実績 6.0%

循環バスに対する町負担割合 [達成]
計画 81.2%以下
実績 79.4%

7)事業の今後の改善点

地域住民に対して広報や出前型による説明機会を増やし、循環バスをはじめとした公共交通機関の認知度を高めるとともに、交通手段を賢く上手に利用する啓発活動を強化する。また、鉄道や幹線バス、ハイヤー等との連携と共存を念頭に置きながら、利用者アンケートの実施によりデータに基づく循環バスの改善を図っていく。

経常収支率や町負担割合については、今期は目標達成できたものの、燃料費や人件費の高騰などの国内経済事情が立ちはだかっており今後の見通しは陰しい。運賃収入については伸びている傾向にあることから、地道に利用促進策を講じながら改善を図っていく。

8)地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄